インターネット号外

東奥日報

2003年8月20日(水)
東奥日報社
〒030-0180 青森市第二問屋町3-1-89

光星快勝8強

甲子園3回戦 対倉敷工 桑鶴 気迫の完封

▽3回戦

倉敷工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光星	1	0	0	0	1	0	0	0	X	2

(倉)陶山―萩原
(光)桑鶴―明戸

阪神甲子園球場で開かれている第85回全国高校野球選手権12日目の二十日、光星は倉敷工と3回戦を戦い、エース桑鶴の好投に打線がこたえ2―0で接戦を制し、2年ぶり3度目のベスト8進出を決めた。桑鶴は3試合連続完投勝利を完封で飾った。県勢の夏の甲子園完封勝利は1968(昭和43)年、三沢高(投手・太田=現野球解説者)が鎮西(熊本)を7―0で破って以来35年ぶり。

光星は初回、先頭の有木が中前打で出塁、きっちり送った後、4番田中隆が右越え二塁打を放ち有木が生還。光星は3試合連続の初回先制点。中盤五回には先頭の小比類巻が足で稼いだ二塁打で好機をつかみ、明戸が三塁に送り、有木が右前打で返し2点目、走者を確実に送り適時打で得点、光星得意のパターンでゲームを進めた。

桑鶴の投球もさえわたった。緩急のボールを自在に投げわけ、倉敷工打線をほんろう、三塁を踏ませなかった。バックもよく守り、ピンチも3併殺で切り抜けた。

【光星―倉敷工】3試合連続で完投勝ちした光星・桑鶴=甲子園

詳細は夕刊で

光星学院への応援メッセージ募集中
Web東奥ホームページ http://www.toonippo.co.jp/